

スマホで視聴  
できます▼



は た の おさむ  
羽 田 野 治 議員

**問** 訓練開始以降、町民からは想像を絶する騒音だとの声が寄せられているが、防衛省の負担軽減策への評価は変わらないか。

**町長** 訓練数の削減や防音工事の前進は一定評価できる。ただしスローランディングへの対応は今後議論が必要である。

**問** 学校上空を旋回し着陸する事例があり、子どもへの影響が懸念される。飛行経路や時間帯への配慮を申し入れるべきでは。

**町長** 実際に飛んでみて初めて分かった課題もある。改善できる部分は協議し、強く訴えていきたい。

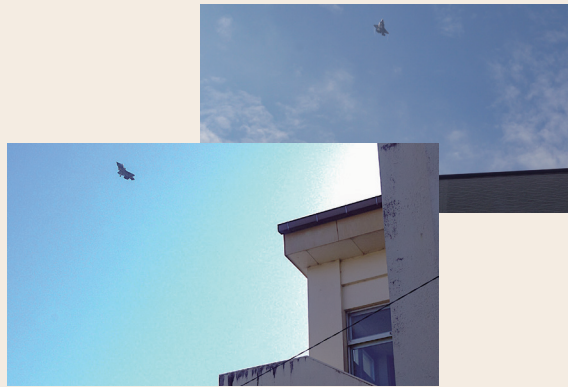
**問** 航空機騒音が子どもの発達に与える影響について教育長の考えは。

**教育長** 騒音は子供の発達に一

F35B実働による騒音被害への認識は

町長 実情を強く訴えながら協議する

定程度の影響を及ぼす懸念はある。



轟音が発育に及ぼす影響を懸念

**問** 子どもが滞在する施設には早急かつ無条件で最上級の防音対策を国に強く求めるべきでは。

**町長** 限度を超える騒音は国が責任を持って対策すべきと考える。学校等への対応も強く訴えていく。

**問** コンター見直しと防音工事の新しい施工基準による防音工事の開始時期は。

**町長** 今年度末から騒音度調査を開始し、その翌年に新告示が予測されるが、現状を鑑み前倒しを要望していく。

**問** 新コンター告示後の1種区域の施工法と、既に工事済み住宅への対応は。

**町長** 見直し後は区域内の住宅全体が外郭防音を実施し、全室工事対象となる。既施工住宅は対象外となる場合もあり、詳細は防衛省と協議が必要。

登校に支援が必要な児童生徒への対応は

**問** 別室登校の児童生徒数は。

**教育長** 町内の小中学校全体で16名。そのうち11名は登校後クラスに戻れている。

**問** 校内教育支援センターの設置状況は。

**教育長** 図書室などを活用して支援の場を各校に設置している。

サッカーチームによる経済効果は

**問** ホーム戦の経済効果は約1億5千万円、J2昇格で約3億円とする根拠は。

**町長** 県の観光動向調査をもとに来訪者の平均消費額を5千円とし、J2では概ね2倍となる来場者数を掛けた数値で見積もっている。

**問** 滞在時間を延ばす施策は。

**町長** 将来的には周辺地域に健康づくりを核とした多目的施設や店舗誘致を計画しているが、まずはコンテナホテルの開業に期待したい。



来町者の滞在時間延長に期待

スマホで視聴  
できます▼



まつ 浦 美 緒 議員

## 災害時の口腔ケア対応を 伺う

### 町長 命を守る重要な取組で あると認識

**問** 高齢者の口腔ケアの取組について伺う

**町長** 高齢者にとって口腔ケアは虫歯や歯周病、誤嚥性肺炎の予防に加え、食べる機能を維持することで低栄養の防止や栄養改善につながり、かみ合わせの安定による運動機能の維持にも重要。地区ごとに実施している介護予防教室や通いの場など、様々な機会で口腔ケアの重要性を伝え、家庭でできる口腔体操等の指導を行っている。



お口の健康は長生きの秘訣



口腔体操を習慣に

**問** 介護予防教室を利用していない方への対策について伺う。

**町長** ポジトレやキラリ輝き体操などの教室への参加を促している。具体的には、65歳、70歳、75歳になる月に介護保険の資格取得や医療保険の移行説明会を開催しており、その際にポジトレや通いの場等の案内を行っている。その他、実態把握のための自宅訪問時や認知症イベントの際にも同様の案内を実施している。

## 公用車について

**問** 公用車台数と利用状況について伺う。

**町長** リース車2台を含め、総数は83台。うち13台は集中管理で効率的に運用し、70台は各課に配置している。日によって利用頻度は異なるが、集中管理の公用車が空いていない場合は各課管理の公用車を活用している。



徹底した管理と有効活用を

**問** 経費削減に向けた取組と課題について伺う。

**町長** 電気自動車2台、ハイブリッド車7台を導入し、燃料費な

どの経費削減に取り組んでいる。課題は電動化導入に伴い、充電設備整備や電源確保、初期導入費用の増大、管理業務の負担などがあ

**問** 今後の方向性について伺う。

**町長** 国等の補助金を最大限活用することで導入費用の軽減を図り、リース方式による予算の平準化や業務負担軽減を図る。また災害時には非常用電源として活用できる充電環境の整備を推進し、脱炭素社会の実現と災害に強いまちづくりの両立を目指す。

## 画像・映像による性被害 から子どもを守るために

**問** 現在の対策について伺う。

**教育長** 年齢に応じた性教育や、トラブルに関するリテラシー教育を行っている。

**問** 探知アプリ導入などの考えはないか

**教育長** 規制監視すること、家庭内ルールによる自己判断と、二つの考え方があ

スマホで視聴  
できます▼



でぐち きじゅうろう  
出口 喜重郎 議員

**問** 中学生の修学旅行にかかる費用は。

**教育長** 全額個人負担で、一人7万2千円から8万円。費用は個人が旅行会社へ直接振り込む方式としている。

**問** 修学旅行に対する生徒の満足度は。

**教育長** 生徒たちが自分たちで行程を組んで実施するため、満足度は高い。

**問** 将来的に国内から海外へ移行する考えはないか。

**教育長** 昨年度から中学生の海外派遣を再開し、台湾への研修を行った。貴重な体験ができたと考えている。ただし修学旅行として実施するには、費用や安全面への配慮、保護者の理解などの課題が大きい。今後、情勢を見ながら検

## 中学生の修学旅行について

### 教育長 情勢を見ながら検討する。

討する。



国際交流で多様な価値観を共有

## 学校給食について

**問** 町内からの食材調達状況と単価は。

**教育長** 町内業者を通じて、できる限り町内産や県内産を仕入れている。一食の単価は、小学校309円、中学校359円である。

**問** 東洋ライス(株)との包括連携

協定の内容は。

**町長** 新富町産米を金芽米に加工し、食育の推進、農業振興、スポーツ振興などを通じて地域活性化につなげたい。令和8年度から町内の学校給食で提供できるよう進めている。

**問** 金芽米の特徴やメリットは。

**町長** 従来の白米と比較して糖脂質が多く免疫力を高め、ビタミンBや食物繊維など栄養価が高い。甘味・うま味成分が多く、無洗米のため節水効果や水質汚染防止にもつながる。

**問** 提供される米は町内産なのか。

**町長** 協定の目的は新富町産米を給食に使用することであり、町内産米の普及を図る取り組みである。

**問** 給食調理場が二か所あるが、効率化や経費節減の見直しが必要では。

**町長** 一か所では全学校分を提供できない。今後の状況が変化した場合に検討する。



毎日約1,500食の給食を提供

## 商店街・文化施設について

**問** ルピモール商店街が元の賑わいを取り戻すため、行政としての施策は。

**町長** 社会変化に伴い現行の商売形態が難しくなっている。人通りを増やす施策について、組合と協議する必要がある。

**問** ギャラリー新富の利用頻度は。

**町長** 令和4年度は27回展示を行い来場者は約4千人、令和5年度は約4千2百人である。

**問** 年間330万円の補助金を継続できるのか。また増額する方針はあるのか。

**町長** 組合と協議し、必要であれば予算を計上する。



い び かね ひさ  
 捐 斐 兼 久 議員

**問** 残り約250世帯の工事は約4年かかる、次回のコンタール見直しまでに完了できるように、要望していただきたい。

**町長** そのように要望していく。

**問** 防音工事の限度額の見直しについて伺う。

**町長** 今年10月1日時点で限度額が引き上げられた。

**問** 具体的にどの程度引き上げられたのか。

**町長** 3室で76万円、4室で95万円、最大5室で114万円の増額となる。

**問** 整備拠点誘致に関する現在の動きは。

**町長** 様々な課題について関係機関と確認を行いながら検討したい。引き続き実現性を考慮し、活

## 防音工事の現状について

町長 希望世帯は380世帯。うち130世帯が完了

動を進めていく。



早期着工で待機期間の短縮を

## 防災・危機管理について

**問** 今年度の防災避難訓練の成果は。

**町長** 300人以上の参加を得て、防災意識の向上、避難経路・避難場所の確認ができた。さらに、

消防団災害対応マニュアルの実効性を検証することもできた。

**問** 地域防災計画の現状は。

**町長** 毎年、上位計画との整合性や災害様態の変化を分析・検討し、修正を行っている。現時点では計画自体を見直す必要はないと考える。

**問** 国民保護法に係る新富町の計画の現状は。

**町長** 国や県の方針を踏まえ、本町の地域特性に応じた避難施設や救援体制を整備するため計画を作成している。政府の国民保護に関する基本指針の改定に伴い、町も計画の見直しを実施している。



地域特性に応じた訓練計画を

**問** 町内に防犯カメラを設置する考えは。

**町長** 防犯カメラの設置は犯罪抑制や事件解決、不明者の捜索等に有用であると認識している。ただし、法的整備、プライバシー保護、住民合意形成などの課題があり、現在は課題の整理と解決策の検討を進めることが重要と考えている。

## 農業関連について

**問** 国の米政策に対し、町が執るべき行動は。

**町長** 町としては米の生産性維持を図ることが重要である。関係機関と連携し、スマート農業の推進、担い手確保、圃場集約化などを通じて生産性維持に努める。

**問** 農業の今後について町長の考えは。

**町長** 水田、畑作、施設園芸、畜産などに各種施策を講じ、有害鳥獣対策、甘藷基腐病などの病害対策。鳥インフルエンザなどの家畜防疫対策を進めながら、農業の振興・発展に努めていく。

スマホで視聴  
できます▼



こやま さなえ  
山 早 苗 議員

**問** 通学路や町道の交通安全看板など、重要度の高いものについて設置状況や管理はどうなっているか。

**町長** 今後、注意喚起の看板等を確認・把握し、管理にしっかりと努めていく。

**問** 大雨等で砂利が道路に流れ危険な箇所が見られる。発見者が通報できるようなシステムがあると思うか。

**町長** 現在、地図GISアプリを活用し、新富町のマップで町道の点検や気づいた箇所を集約できるシステムを構築している。

**問** 町内のバス停36か所のうち、屋根付きベンチは14か所に設置されている。今後、すべてのバス停に設置するのか。

**町長** 設置場所によっては安全

町内の環境整備、迅速に対応できる体制を

町長 新たな系の編成等も検討していきたい

上困難なところもあるが、今後数年間は可能な場所から順次設置していきたい。

**問** 今後設置するバス停には、防犯や災害時に備え、太陽光発電による電灯を付けてはどうか。

**町長** バス停の状況を確認しながら設置していく。



子どもや高齢者に優しいバス停を

高齢者支援について

**問** 高齢者介護支援策としてGPSの導入を考えているか。

**町長** 高齢者の見守りの手法としては、GPSをはじめ、QRコード入りのシールを身につけるなどIoTを活用したものの他、地域住民による見守りや、郵便局などの町内事業所と取り組んでいる新富町地域見守りネットワークなど「人の目」による見守りがある。地域の実情に合った支援を実施していく。



地域が一体となった見守り体制作り

**問** 高齢者のごみ出し負担軽減のため、ごみ袋の最小サイズを導入する考えはないか。

**町長** 新たなサイズ追加に伴う制作費や在庫管理コストの増大、販売協力店舗での取り扱いスペース確保など、コスト面や運用面での影響が大きく見込まれるため、現時点では導入を考えていない。

子育て支援・対策について

**問** 「子どもの居場所」として上新田学習館の利用は可能か。

**教育長** ロビー部分には机や椅子を備え、学習等に利用できる状態で開放している。図書も常設580冊に加え、毎月70冊ずつ配布し新刊を入れ替えている。今後要望があればロビー以外の貸館状況を確認し、空いている部屋を開放することも可能である。



子どもたちの安心空間

## 令和7年12月定例会 議案等の審議結果

番 号	件 名	結 果	
議案第 73号	令和7年度新富町一般会計補正予算(第10回)	可決	全員
議案第 74号	令和7年度新富町国民健康保険特別会計補正予算	可決	全員
議案第 75号	令和7年度新富町介護保険特別会計(保険事業勘定)補正予算	可決	全員
議案第 76号	令和7年度新富町後期高齢者医療特別会計補正予算	可決	全員
議案第 77号	令和7年度西都児湯情報公開、個人情報保護審査会特別会計補正予算	可決	全員
議案第 78号	令和7年度新富町介護保険特別会計(介護サービス事業勘定)補正予算	可決	全員
議案第 79号	令和7年度新富町水道事業会計補正予算	可決	全員
議案第 80号	新富町乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例	可決	全員
議案第 81号	新富町特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例	可決	全員
議案第 82号	一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	可決	全員
議案第 83号	町長、副町長及び教育長の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例	可決	全員
議案第 84号	新富町議会議員の議員報酬及び費用弁償の支給に関する条例の一部を改正する条例	可決	全員
議案第 85号	新富町職員定数条例の一部を改正する条例	可決	全員
議案第 86号	新富町議会議員及び新富町長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正する条例	可決	全員
議案第 87号	新富町特別職の職員で非常勤の者の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	可決	全員
議案第 88号	新富町行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用に関する条例の一部を改正する条例	可決	全員
議案第 89号	物品売買契約の締結について(令和7年度特定防衛施設周辺整備調整交付金事業 小型動力ポンプ更新)	可決	全員
議案第 90号	物品売買契約の締結について(令和7年度 新富町移動式排水ポンプ)	可決	全員
議案第 91号	物品売買契約の締結について(令和7年度 再編関連訓練移転等交付金事業新富町道路維持用車載式草刈機)	可決	全員
議案第 92号	財産の貸付について	可決	全員
議案第 93号	財産の処分について	可決	全員
議案第 94号	公の施設の指定管理者の指定について(新富町商工業研修センター)	可決	全員
議案第 95号	公の施設の指定管理者の指定について(新富町福祉学習等供用施設)	可決	全員
議案第 96号	公の施設の指定管理者の指定について(新富町老人福祉センター)	可決	全員
議案第 97号	公の施設の指定管理者の指定について(新富町温泉健康センター「サン・ルピナス」)	可決	全員
議案第 98号	公の施設の指定管理者の指定について(富田浜公園)	可決	全員
議案第 99号	西都児湯障害認定審査会共同設置規約の変更について	可決	全員
議案第100号	令和7年度新富町一般会計補正予算(第11回)	可決	全員

## 令和7年10月臨時会 議案等の審議結果

番 号	件 名	結 果	
議案第 65号	令和7年度新富町一般会計補正予算	可決	全員
議案第 66号	新富町コミュニティバス運行情例等の一部を改正する条例	可決	全員
議案第 67号	新富町健康づくり支援基金条例	可決	全員
報告第 13号	専決処分の報告について(損害賠償の額を定め和解することについて)	—	—

## 令和7年11月臨時会 議案等の審議結果

番 号	件 名	結 果	
議案第 68号	令和7年度新富町一般会計補正予算	可決	全員
議案第 69号	富田浜防災公園の設置及び管理に関する条例	可決	全員
議案第 70号	新富町農林水産業施設災害復旧事業分担金徴収条例	可決	全員
議案第 71号	工事請負契約の締結について(令和7年度富田浜緊急避難施設整備工事)	可決	全員
議案第 72号	物品売買契約の締結について(令和7年度富田浜公園芝管理機器納入事業)	可決	全員
承認第 9号	専決処分の承認を求めることについて(令和7年度新富町一般会計補正予算)	承認	全員

# 文教厚生常任委員会行政調査報告

## 昭島市



深層地下水を活かした給水スポット整備を通じ、環境・健康・地域ブランドの向上を一体的に推進していた。若年層によるデザイン投票や



マイボトル配布など、楽しさと実用性を両立させながら、市民の地域への愛着を育む取り組みが進められていた。

## 日野市



かつて「ごみ排出量ワースト1位」の状況から、長年の改革と市民協働により大きく改善し、現在は全国トップクラスの排出量削減を達成。



大学と連携した指定レジ袋制度、分別アプリ、ダンボールコンポストなど、先進的な施策が成果を支えていた。

## 甲府市



メタバース空間を活用したひきこもり支援では、対面が難しい当事者との新たな接点を創出していた。リアルとバーチャル双方の居場所づくり

を進めるとともに、家族支援、庁内連携、市民啓発を組み合わせた多層的な支援体制が特徴的であった。

# 基地対策特別委員会活動報告



令和7年12月18日、議会基地対策特別委員会は町長とともに防衛省を訪れ、小泉防衛大臣へ安心・安全対策および騒音対策に関する要望書を直接手交しました。町長からは、F-35Bの騒音による住民の不安や負担の実情を理解していただくため、大臣自身の来町も要望。これに対し、小泉防衛



地方協力局長や整備計画局長らとも協議を行い、負担軽減策に関する前向きな回答を得ることができた。今後も町長と議会が連携し、町民の声を国へ届ける取り組みを継続していく。

大臣は、新富町が日頃から自衛隊および日米同盟に寄せる理解と協力に謝意を示され、「いただいた要望を真摯に受け止め、住民の負担軽減と懸念解消に誠意をもって取り組む。私自身も新富町を訪れ、訓練状況を確認したい」との回答があった。

# 議員の定数及び議員報酬に関する調査特別委員会

本委員会は議会基本条例に基づき設置された特別委員会です。議員の定数や報酬が議会運営に適切であるかを調査・評価し、適正化に努めます。

委員会構成 委員長：石崎俊二 副委員長：小山早苗  
委員：吉田貴行 揖斐兼久 松浦美緒



PICK UP

# 令和7年度はたちの集い実行委員会

式典の準備では、他校の方と意見が合わなかったり、たくさん苦勞しました。でも最後にはコミュニケーションもとれて、みんなが楽しめる成人式にできて良かったです。

## ■はたちの集い実行委員メンバー

- |      |       |       |
|------|-------|-------|
| 富田中  | 吉岐 南果 | 黒木 萌衣 |
|      | 出口 幸武 | 東郷朱由未 |
|      | 鳥原 晴  |       |
| 新田中  | 居積 伸丞 | 盛田 娃璃 |
| 上新田中 | 黒木 渚央 | 外山 美優 |



絵・題字：石田 真彩（上新田中）



# おめでとう 20歳



上新田中学校



New adults with overseas roots



富田中学校



新田中学校

■発行責任者／新富町議会議長 阿萬誠郎

■印刷／ふくしげ印刷



日頃より議会活動へのご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。また、「議会だより」をご愛読いただきありがとうございます。文字数に制限のある紙面づくりに毎回頭を悩ませながら、広報委員長を中心に編集作業を進めています。今回は「はたちの集い」において、政治や選挙に関する意識調査を実施しました。晴れ着姿の皆さんが快くアンケートに答えてくれて、おばちゃんはずっとウルウルしていました。

この調査をきっかけに、より多くの有権者の皆さんが政治に関心を持ち、投票行動へとつながるように取り組んでまいりたいと思います。

M I O

### 議会広報特別委員会

- 委員長 羽田野 治  
副委員長 小山 早苗  
委員 今村 行信  
松浦 美緒  
石崎 俊二  
損斐 兼久

### 連絡先 議会事務局

☎333-6139